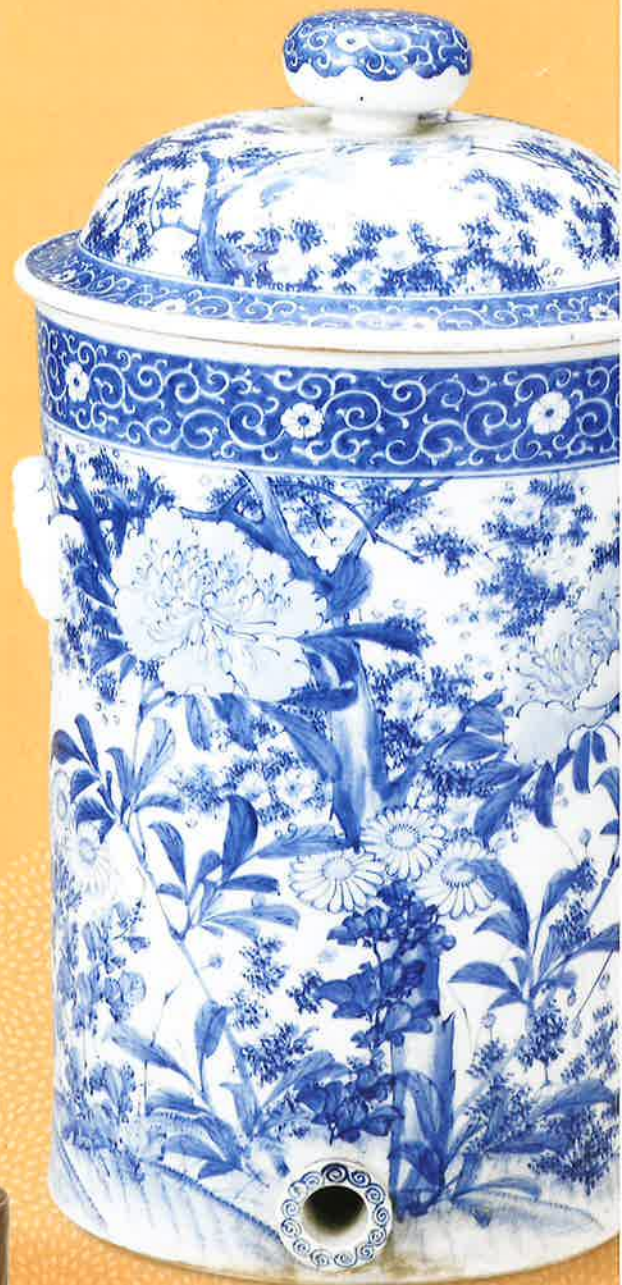


瀬戸蔵ミュージアム企画展

# 2018-2019 新収蔵品展



令和2年

9.26<sub>土</sub> - 12.27<sub>日</sub>

〔開館時間〕 9:00～17:00 (入館は16:30まで) ※令和2年4月1日から開館時間が変更となりました。

〔入館料〕 一般520円 高校生・大学生・65歳以上310円 ※団体割引あり 中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方無料

〔休館日〕 9月28日(月)、10月26日(月)、11月24日(火)、12月21日(月)

〔主催〕 瀬戸蔵ミュージアム、(公財)瀬戸市文化振興財団

《写真》右より  
染付花鳥図蓋付壺 加藤紋右衛門(六代) (19世紀後期)  
竹形梅花象嵌花觥 井上良斎 (19世紀末期)  
灰釉瓶子 (13世紀中期)  
志野茶碗 加藤春丹 (18世紀後期)

 瀬戸蔵ミュージアム  
SETO-GURA MUSEUM  
〒489-0813 愛知県瀬戸市蔵所町1番地の1 TEL: (0561) 97-1190  
URL: <http://www.city.seto.aichi.jp>

〈交通アクセス〉  
名鉄瀬戸線「尾張瀬戸駅」から徒歩5分  
東名高速道路「名古屋I.C.」から車で約30分  
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」から車で約10分  
※駐車場189台(有料)



日本遺産のまち瀬戸市  
Seto City



# 新収蔵品展

瀬戸蔵ミュージアムは、2005年3月の開館以来、全国的にもユニークなやきもの専門の博物館として瀬戸焼の魅力を伝えてきました。その活動のひとつが作品・資料の収集で、これらの多くは市民の皆様からのご厚意により寄贈されたものです。

今回はこうした収集活動の成果をお知らせするため、「新収蔵品展」と題して、2018年から2019年までに収蔵した資料のうち約80点を紹介いたします。

今回、展示をする作品・資料は、中世から現代にわたる国内外向けに製作されたやきものをはじめ、これに付随する文書資料、やきものをつくる道具など多岐にわたります。いずれも瀬戸にゆかりのある歴史や文化、人々の営みを物語るものであり、ご寄贈いただいた方々の思いも込められています。

本展示をご展覧いただき、多彩な広がりを見せる瀬戸および瀬戸のやきものの世界を感じていただければ幸いです。



灰釉水注  
13世紀後半



錆釉土瓶  
14～15世紀



染付丸文重箱  
安政4年(1857)



染付根菜図鉢 川本樹吉(初代)／大出東卓 画  
明治8年(1875)



磁製ヒキクロロ 加藤眞三  
明治42年(1909)



陶製アザミ絵額 加藤山三製陶所  
1970年代

## お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、展示・イベントは、中止・変更の場合がありますのでご了承ください。

## 近隣施設のご案内

\*休館日等詳しい情報は各館にお尋ねください。

### 瀬戸市美術館

TEL 0561-84-1093

●企画展「堀尾一郎 一絵の旅・祈りの旅展」 10月3日(土)～11月29日(日)  
※11月30日(月)～令和3年4月16日(金)は工事のため休館します。

### 瀬戸市新世紀工芸館

TEL 0561-97-1001

●企画展「アーティスト・イン・レジデンス展」 9月26日(土)～11月1日(日)  
●企画展(仮)「増原嘉央・高橋奈己展」 11月7日(土)～令和3年1月24日(日)

### 瀬戸染付工芸館

TEL 0561-89-6001

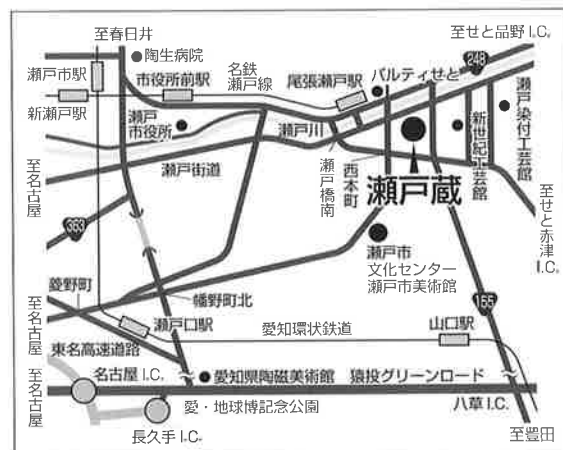
●企画展「瀬戸染付 一徹選の逸品」 8月12日(水)～11月30日(月)

### 愛知県陶磁美術館

TEL 0561-84-7474

●特別展「YAYOI・モダンデザイン ニッポンの美、ここに始まる」 10月10日(土)～12月13日(日)

## 会場案内図



(交通アクセス)

名鉄瀬戸線「尾張瀬戸駅」から徒歩5分、東名高速道路「名古屋I.C.」から車で約30分  
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」から車で約10分  
※駐車場189台(有料(最初の1時間無料。以降1時間毎に100円))



**瀬戸蔵ミュージアム**  
SETO-GURAMUSEUM

〒489-0813 愛知県瀬戸市蔵所町1番地 TEL. (0561) 97-1190  
URL: <http://www.city.seto.aichi.jp>